

地域ケア会議 NEWS☆LETTER

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

11か月振りに地域ケア推進会議開催！

11月24日小諸市役所にて、今年度第1回目の地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議を開催しました。昨年の12月に開催した会議以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止が続き、約1年ぶりの開催となりました。

今回は、『認知症初期集中支援チームについて』と、『課題解決・目指す地域の姿実現に向けた取り組みについて』として、『身寄りのない住民の身元保証』『こもろ愛のりくんを含めた移手段』について、これまでの実践報告を行い、今後も地域課題解決・目指す地域の姿実現に向けて、各組織・団体が継続して取り組みを進めることを確認しました。



次回の推進会議（令和3年2月）では、新たなテーマ（地域課題の種）を決め、取り組みをスタートします！

『認知症と共に歩む道しるべ』小諸市認知症ケアパス第2版 ～自分らしさの花を咲かせよう～支援者の活用研修を実施

この度、『認知症と共に歩む道しるべ』小諸市認知症ケアパス第2版が完成しました。

この冊子をご本人・ご家族だけで利用いただくのではなく、地域包括支援センター職員やケアマネジャーなど、相談援助を行う支援者と一緒に活用いただく冊子です。



一緒に活用することで、ご本人に合った地域資源や制度、介護サービスを検討したり、ご本人の大切にしていることや役割、強みを大切にすることができ、ご本人やご家族の安心につながります。

対象者	・認知症の方とご家族
目的	・支援者と一緒に活用することで住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるため
配付方法	・支援者からご本人ご家族に配布 ・高齢福祉課、地域包括支援センター窓口にて配布
内容	1. 認知症を知ろう 2. 認知症の方への対応や介護のヒント 3. いつまでも私らしく地域で暮らす道しるべ 認知症の進行に応じた症状や介護をする方の対応、支援体制等を紹介しています。 4. ご本人のページ 5. 認知症と診断されたご本人・ご家族からのメッセージ 6. 認知症と共に歩む方々からのメッセージ

6月7月の2回に分けて、地域包括支援センター・ケアマネジャー・グループホーム・小規模多機能型居宅介護事業所職員を対象にケアパス活用研修を実施し、活用時のポイントの確認と、認知症の方の支援についてワールドカフェの手法を用いて研修を行いました。



▲認知症介護指導者の勝俣さんより支援にあたってのアドバイスをいただきました。



『認知症と共に歩む道しるべ』は、市ホームページ・市立小諸図書館でもご覧いただけます。

【おじゃましました!!】 いきいき交通安全体験教室 ～ネットワークで高齢者の 安全運転を支えます!～



昨年度より推進会議で協議している『こもろ愛のりくんを含めた移動手段』について、【誰もが行きたい場所に行くことを移動手段がないことを理由にあきらめなくてもよい地域】を目指して様々な関係機関が協働し、取り組みを進めています。

今回は、多くの機関・団体が協働して開催された高齢者の交通安全体験教室の様子をお伝えします。

【①7月28日高齢者福祉センター糠塚園にて開催】

当日は、関係者も含め50名の方が参加。小諸警察署による交通安全講話、長野県警の交通安全体験車チャレンジ号に搭載されている4つの機器の体験をはじめ、こもろ



▲小諸警察署による交通安全講話

医療センターのリハビリ専門職による、『運転を続けるためのカラダづくり』として健康体操教室、こもろ愛のりくんの紹介・利用登録相談会など、盛りだくさんの内容で、参加者の方は時折笑顔を見せながらも、真剣に取り組む様子が見られました。



▲自動車運転シュミレーター



▲運転・歩行能力判断システム



▲リハビリ専門職による健康体操教室



▲こもろ愛のりくん
情報提供・相談会

【②10月19日小諸市文化センター駐車場にて開催】

長野県警と小諸市から、(一社)長野県自動車販売店協会に協力依頼し、会員販売店の車両と人員を提供いただき開催。

追突回避支援ブレーキや誤発進抑制制御機能などの



▲安全運転サポート車を体験

機能について、実際に車に乗って体験しました。また、セニアカーの試乗も行い、多くの方が実際に運転し操作性を確かめていました。



▲セニアカーの試乗

『身寄りのない住民の身元保証』意見交換会が開催されました

12月1日市役所にて、推進会議のメンバーである小諸市介護保険事業者等連絡会の呼びかけで、市内の病院、介護施設の相談員等が集まり『身寄りのない住民の身元保証』について、現場レベルでの意見交換会が開催されました。

最初に、高齢福祉課の五十嵐社会福祉士より、地域ケア推進会議での協議内容の説明を受け、その後、参加者から日ごろ感じている課題や不安、事例などを発表し、全体で共有しました。



▲当日は11名が集まり、活発な意見交換が行われました。

『入所者が亡くなった際、アパートの撤去を施設のみで対応した事例がある』『入所中に急に医療機関に受診となった際に対応ができる人がいない場合、入所の受け入れ自体が難しくなってしまう』『役割分担シートは病院でも必要なケースには作成し活用している』等、様々な意見が出され、今後も定期的に集まり、以下の3点実現に向け取り組んでいく旨を確認しました。

- ① 『役割分担シート』と『事前指示書』を小諸市版として汎用性のあるものにしていく
- ② 支援の継続性の確保と関係機関の連携のために困難ケース検討会の開催
- ③ 関係機関の視点をそろえるため、意思決定支援や成年後見制度の学習会を開催

【編集後記】このNEWS☆LETTERも10か月振りの発行となります。感染予防対策を徹底しながら、地域課題解決に向け、様々な取り組みが進められています。引き続き『取材に来て!』のお声がけをお待ちしています。

